

ノルウェー沿岸に行く 世界で最も美しい航路

HURTIGRUTEN

フットィルルーテン



HURTIGRUTEN



Contents

〈コース紹介〉

ノルウェーのコースタルクルーズを満喫
ラウンドトリップ(往復/通年)
ベルゲン〜キルケネス〜ベルゲン/ 11泊12日 …… 13

北の最果ての岬を目指して
北行き航路(通年)
ベルゲン〜キルケネス/ 6泊7日 …… 15

北極圏から南へ向かう旅
南行き航路(通年)
キルケネス〜ベルゲン/ 5泊6日 …… 17

〈フッティルーテンの魅力〉

フッティルーテンとは …… 4

フッティルーテンだからできること …… 5

フッティルーテンで感じる四季 …… 7

寄港地のご案内 …… 11

エクスカーシオン (オプションツアー) …… 19

シップデータ …… 21

デッキプラン …… 22

船内のご案内 …… 23

タイムテーブル …… 25

クルーズライフのアドバイス …… 26

(写真提供: HURTIGRUTEN、スカンジナビア政府観光局)
※掲載の写真はすべてイメージです

冬空に輝くオーロラ、
夏の緑が彩るフィヨルド…
世界最北の定期航路で、忘れ得ぬ絶景と出会う
唯一の船旅フッティルーテン。

フィヨルドの海岸線をたどるフッティルーテンで、
極北の大自然、人々の営みに触れ、ノルウェーの素顔に出会う旅へ出かけませんか。

フッティルーテンは、専門性が高くユニークなクルーズ内容が
評価され、2013年グローブ・トラベル・アワードを受賞しました。
ノルウェー生まれのフッティルーテンの船旅なら、誰よりも身近
にノルウェーの魅力に触れていただけます。



The World's Most Beautiful Voyage



フッティルーテンとは…

1893年、ノルウェー北西部へ人と物資を運ぶために創業したフッティルーテン。

南のベルゲンから北のキルケネスまで約2,400km、大小34の港に寄港しながら12日間かけて往復しています。

主要な港のほか住民や貨物が乗降するだけの小さな港にも寄港する、沿岸住民の生活の足として欠かせない定期船。

フィヨルドの絶景に恵まれたその航路は『世界で最も美しい船旅』と謳われ、観光客船としても世界中から人々の注目を集めています。

ノルウェー西海岸の大自然と素顔に出会うことができる船旅です。



©Anja Hepso - Guest image

フッティルーテンの歴史



2,400kmにも及ぶノルウェー西海岸はフィヨルドや岩礁に覆われ、沿岸の村々は19世紀後半まで分断されていました。ノルウェー海は古くから豊かな漁場として知られており、西海岸の南北を結ぶ安全な貿易ルートを作る事が必要とされたのです。1891年、ノルウェー政府はトロンハイム-ハンメルフェスト間を結ぶ“海の道”をつくる事を決定しました。

冬場の暗い極夜や数え切れない岩礁、数えるほどしかない灯台といった厳しい自然のため不可能と思われた“海の道”ですが、リカルド・ウィットは、誰もやったことのない試みにチャレンジをすることを決めたのです。

1893年7月2日 船長リカルド・ウィットが初の蒸気船ヴェス

テローレン号でトロンハイムを出発し、67時間後にハンメルフェストに到着しました。これは、ノルウェー西海岸の交通革命ともいえる出来事でした。それまでこの区間に手紙が届くのにには、夏3週間、冬5か月もかかっていたのです。1898年にはベルゲン、1914年にはキルケネスへとルートを延長しました。

リカルド・ウィットはこのルートをフッティルーテン（急行船）と名付けました。以来 120年間フッティルーテンはノルウェー西海岸へ人と物資を運び続け、沿岸生活に欠かせない存在となっています。

船長はじめ沿岸出身の船員一同、日本の皆様のご乗船を心よりお待ちしております。

『フッティルーテンようこそ!』



©Hurtigrutemuseet

ノルウェーの大自然とひとつになる旅

深く入り組んだフィヨルドの断崖、静かな海に点在する島々。フッティルーテンの絶景に恵まれた航路は、「世界で最も美しい航路」と謳われています。ノルウェー西海岸は、大自然のスペクタクル。120年以上ノルウェーの大自然と共に旅してきたノルウェー生まれのフッティルーテンだからこそ、大型客船では味わえないその魅力を余すところなく味わえます。



©Torsten Brandt-Thierry-Guest image



©Gaspere Martillaro-Guest image



©Vesely Andrea-Guest image

Dynamic Nature in Norway

華やかなショーもドレスアップもいらない静かな休日

フッティルーテンには、豪華客船のようなカジノやエンターテイメントはありません。それはノルウェーの大自然をゆっくりとご堪能いただきたいと考えているからです。また気の置けない雰囲気大切にしたいから、ドレスコードはありません。どなたでも気軽にゆったり静かな休日を過ごしてください。



©Gian Rico Willy



©Nina Helland



©Trym Ivar Bergsmo

Calm and Peaceful Holiday on Board

春 SPRING 北極圏の目覚め



春:4月1日~5月31日



ノルウェー・憲法記念日(5月17日)のお祝い



地元の漁師が魚のさばき方を披露



オオワシ・ウォッチングで海鳥が間近に(エクスカーション)

春:1週間で3シーズン体験

長い冬が終わるとノルウェーには待望の春がやって来ます。一日ごとに伸びる太陽の光と共に渡り鳥がやって来て、春の到来を知らせてくれるのです。白い残雪が残る北極圏から、新緑が芽吹く南部へとドラマチックに変わる風景をお楽しみください。

ハイライト

- ・南北に長いノルウェー西海岸では1週間で冬・春・初夏の3シーズンを体験
- ・ガイランゲルフィヨルドを航行(4月15日~8月31日)
- ・地元漁師から届けられた新鮮なエビ試食などの船上イベント開催
- ・民族衣装で祝うノルウェー・憲法記念日(5月17日)
- ・日照時間が長い白夜シーズン

エクスカーション

- ・カヤックツアー
- ・オオワシ・ウォッチング
- ・RIBサファリ・サルストラウメン

日照時間(日の出/日の入)

	ベルゲン	トロムソ
4/1	07:05/20:22	05:50/19:48
5/1	05:36/21:38	03:22/22:05

夏 SUMMER 真夜中の太陽



夏:6月1日~8月31日



ミッドナイト・サン



大自然を間近に体験



肌を撫でる風に身をまかせて

夏:ミッドナイト・サンとの出会い~24時間がハイライト

北極圏では2カ月間太陽が沈まない白夜のシーズン。人々は時間を忘れ、24時間生きる喜びを享受します。いつでも何でもできる自由を満喫してください。燃えるように輝くミッドナイト・サンでパワー・チャージを。

ハイライト

- ・ガイランゲル・フィヨルドを航行
- ・トロルフィヨルド内を航行
- ・日照時間が長い白夜シーズン
- ・ミッドナイト・サン体験
- ・緑豊かなフィヨルド
- ・豊富なエクスカーション

エクスカーション

- ・ガイランゲルとトロールスティーゲン
- ・氷河体験スヴァールティーセン
- ・RIBサファリ・サルストラウメン
- ・北極圏バードウォッチング
- ・世界遺産の島・ヴェガ島

日照時間(日の出/日の入)

	ベルゲン	トロムソ
6/1	04:25/22:49	ミッドナイトサン
7/1	04:16/23:08	ミッドナイトサン
8/1	05:16/22:13	02:16/23:17

秋 AUTUMN 黄金の秋



秋:9月1日~10月31日



知られざるヨールン・フィヨルド



先住民サーメを訪ねる(エクスカーション)



秋色に染まる

秋:色彩のパレット

冷たい空気を感じたら、それは秋のしるし。
 空は青く澄み切り、木々は黄、赤、茶、橙と鮮やかに染まります。
 秋の斜光がフィヨルドに差しこみ、静寂に包まれた穏やかな時間が流れます。
 秋色に染まったノルウェーはまさに色彩のパレットです。

ハイライト

- ・ヨールン・フィヨルドを航行(北行き)
- ・美しい黄葉シーズン
- ・オーロラ遭遇のチャンス
- ・秋の味覚・クラウドベリーやトナカイ肉の試食会などの船上イベント

エクスカーション

- ・ノルウェー体験/ヨールン・フィヨルド
- ・ムンクホルメン修道院
- ・サーメ体験
- ・アークティック・ブッシュクラフト(火おこし体験)

日照時間(日の出/日の入)

	ベルゲン	トロムソ
9/1	06:31/20:44	04:59/20:26
10/1	07:44/19:11	06:58/18:07

冬 WINTER 神秘の光を追いかけて



冬:11月1日~3月31日



クリスマス



雪山



漁師からのカニの贈り物

冬:極北のスペクタクル・オーロラ

夜が長いノルウェーの冬に会える天空のショー・オーロラ。
 人口の光がない夜の海を航行する船のデッキはオーロラ観測には最適。
 オーロラの出現は船内アナウンス*しますので、
 暖かい船内でのんびり待つことができます。
 夜空を舞う神秘の光を探しにノルウェーの冬へようこそ。 *22時頃までのサービス。

ハイライト

- ・オーロラ遭遇のチャンス
- ・白銀の雪景色
- ・極夜の時期に会えるパープル、オレンジ色に染まる幻想的な空
- ・クリスマスや大晦日のスペシャル・クルーズ
- ・フィッシュケーキ試食会などの船上イベント開催

エクスカーション

- ・犬ぞり
- ・ミッドナイト・コンサート
- ・スノーホテル見学
- ・ノールカップ

日照時間(日の出/日の入)

	ベルゲン	トロムソ
11/1	08:02/16:41	08:10/14:44
12/1	09:17/15:38	ポーラーナイト*
1/1	05:16/22:13	ポーラーナイト*
2/1	08:56/16:50	09:27/14:30
3/1	07:39/18:04	07:12/16:43

*1日中太陽が登らない極夜現象。

寄港地

フッティルーテンは、ノルウェー沿岸の34の港へ人や物資を運ぶ生活に不可欠な定期船です。大型観光客船では訪れない、住民や貨物が乗り降りするだけの小さい港にも寄港します。



※タイムテーブルは25ページをご覧ください。



ガイランゲルフィヨルド ©gairangeruAndreas, Mihatsch Polarlys



ノールカップ ©Richard Neall



フッティルーテン博物館 ©Roman Scheibler



ロフォーテン諸島 (ラフテスンデ海峡) ©Nancy Bundt



セブンシスターズ ©Nina Helland



トルグハッテン ©Jamie Calikes-Guest image

フィヨルド観光の玄関口
ベルゲン Bergen

1070年にバイキングによって築かれ、中世にはハンザ都市として発展しました。現在はノルウェー最大の港湾都市。港周辺が町の中心で、博物館や魚市場、ユネスコ世界遺産に登録されたブリッゲン地区などの見どころが集中しています。



歴史巡りが楽しい古都
トロンハイム Trondheim

ノルウェー第3の都市。中世ノルウェーの首都として栄えた古都で、ニーダロス大聖堂やクリスチャンセン要塞、カラフルな倉庫群など、市内各所に歴史的建造物が残っています。また、教育・研究機関が集中する学術都市としても知られています。



©Dennis Price-Guest image

ロフォーテン諸島の玄関口
スヴォルヴァール Svolver

世界最大のタラの漁場を持つ港町で、1〜4月には多くの漁船で賑わいます。ロールプと呼ばれるカラフルな木造のコテージが独特の景観を作り出しています。



©Wehnes Doris-Guest image

ノールカップ観光の玄関口
ホニングスヴォーグ Honningsvåg

マーゲロイ島にある小さな漁村。19世紀に建てられたホニングスヴォーグ教会は、第二次世界大戦末期、ドイツ軍による破壊をまぬがれた村内唯一の建物です。ここからバスで約45分の距離に、ヨーロッパ最北端の岬ノールカップがあります。



©Chris Gilbert-Guest image

人口数百人の小さな港町にも寄港

定期船フッティルーテンだからこそ、ノルウェー西海岸の素顔に出会うことができます。



©Arne Ekholm-Guest image



©Laquevre patrick-Guest image



©Nancy Bundt

アールヌーボーの美しい町並み
オーレスン Ålesund

18世紀以降、漁業で発展した町で、現在もタラやサーモンの輸出が盛ん。アールヌーボー調の建物は、美しい街並みで世界的に知られています。



©Manfred Horender

北極圏の交通の要衝
ボードー Bodø

北極圏の入口に位置する商業都市。近くには直径150mにもなる大渦巻き『サルトラウメン』があり、エクスカッションで訪れる事ができます。



©Ulla Eickholt-Guest image

北極圏最大の町
トロムソ Tromsø

大学やオーロラ研究所がある北極圏最大の街。港の周りには木造の家が続く美しい街並でショッピングも楽しめます。ステンドグラスの美しいトロムソ・ダーレン教会は是非訪れたいスポットです。20世紀初頭には北極探検の出発地として名を馳せた町でもあり、ゆかりの探検家アムンゼンの像が立っています。



©Nancy Bundt

ロシア国境に近い町
キルケネス Kirkenes

フッティルーテンの北の終着港で、1950〜70年代に鉄鉱石の採掘で発展した町。冬には雪と氷で出来た『スノーホテル』がオープンします。



©Toma Babovic

ノルウェーのコースタルクルーズを満喫

ラウンドトリップ・往復乗船 (通年)
ベルゲン ~ キルケネス ~ ベルゲン (11泊12日)



ラフテスデ海峡(ロフォーテン諸島)
©Svein Henningsen

ベルゲンからキルケネスまで、ノルウェー西海岸沿いを往復する12日間のクルーズです。往復とも同じ港に寄港しますが、往路で夜に訪れたら復路は昼、というように寄港時刻が異なるので、各地の魅力を余すことなく堪能できます。

ノルウェーの自然・文化にたっぷり浸りたい方におすすめする、フッティルーテン・クルーズの決定版。



クルーズハイライト



©Andreas Mihatsch

ガイランゲルフィヨルド **春夏**

氷河が創り出した雄大なフィヨルド

標高1500mの山々が間近に迫る、ノルウェーを代表するフィヨルドです。2005年にユネスコ世界遺産に登録されました。



©Ruth Stone - Guest image

ノールカップ **通年**

ヨーロッパ最北端北の果ての大地

ヨーロッパ最北の地・マーゲロイ島にある岬。16世紀、シベリア〜インド間の航路を探すイギリス人が名付けた「North Cape (北の岬)」のノルウェー語読みが現在の名前。かつてはサーメ人の聖地でした。

※ 別料金のエクスカージョンとなります。



©Trym Ivar Bergsmo

ラフテスデ海峡(ロフォーテン諸島) **通年**

北の海に浮かぶ『海のアルプス』の神話のような風景

険しい山々と静かな入江、愛らしい集落など、絵に描いたような風景が広がる島々。『まるで絵葉書の中に入って行くようだ』と形容されるほど素晴らしい景色が広がります。



©Michael Risch

オーロラ **秋冬**

北極圏の冬の夜空のスペクタクル

フッティルーテンの航路北部は、オーロラが頻発する「オーロラベルト」と呼ばれる地帯にあたります。出現まで快適な船内でおくつろぎいただけるので、寒い屋外で待つ必要はありません。

クルーズポイント

ノルウェーの自然・文化をディープに知る

ベルゲン〜キルケネス間を往復する12日間のクルーズ。のんびりと船旅を楽しみながらノルウェーの自然と文化にたっぷり浸れます。

各寄港地、昼夜両方の魅力を満喫

往復とも寄港地は同じですが、寄港時刻が異なり、往路で見る事の出来なかった風景を復路で見る事ができます。オプションツアーにも変化を持たせているため、各地の魅力をくまなく堪能できます。

Schedule

day 1	ベルゲン 夜、ベルゲンを出港します。出発まで市内観光などご自由にお過ごしください。
day 2	オーレスン ~ モルデ アールヌーボー調の町並みが残るオーレスンに寄港。 ※ 4月中旬〜8月下旬発ではガイランゲルフィヨルド内を、9月初旬〜10月下旬発はヨールンフィヨルド内を航行します。
day 3	トロンハイム 中世の面影を残す古都トロンハイムに寄港。
day 4	ボードー ~ スヴォルヴァール 朝早く北極圏に入り、ボードーに寄港。その夜は、スヴォルヴァールへ。 AURORA
day 5	ハシュタ ~ トロムソ 北極圏最大の町で、趣ある木造建築が残るトロムソに寄港します。 AURORA
day 6	ハーヴォイスン ~ ホニングスヴォーグ ノールカップへの玄関口ホニングスヴォーグに寄港。 AURORA
day 7	ヴァドソー ~ キルケネス ~ ヴァドソー ロシア国境近くの町キルケネスに到着。午後、南行き航路へと折り返します。 AURORA
day 8	ホニングスヴォーグ ~ トロムソ 世界最北端の町ハンメルフェストに寄港。海に切り出すようにそびえる岩山の風景が続きます。 AURORA
day 9	ハシュタ ~ スヴォルヴァール トルフィヨルドを通過し、ロフォーテン諸島へ。クルーズのハイライト、ラフテスデ海峡(ヴェステローレン諸島・ロフォーテン諸島)の絶景をお楽しみください。 AURORA
day 10	ボードー ~ サンネスショーエン 午前中に北極圏を抜け、7つの頂が連なるセブンシスターズなどの雄大な景観を眺めながら、ロルヴィークへ。
day 11	トロンハイム ~ クリスタンソン 朝、トロンハイム寄港。夕刻、賑やかな港クリスタンソンに寄港。船上での最後の夜です。
day 12	オーレスン ~ ベルゲン 昼過ぎにベルゲンに到着。

AURORA オーロラ観測のチャンス!
※ オーロラのベストシーズンとされるのは9月中旬〜3月中旬ごろ。自然現象ですので観測できない場合もあります。

おもなエクスカージョン

- [ガイランゲル発] ガイランゲル・トロールステイゲン **2B** 春夏
- [トロンハイム発] トロンハイムとニードロス大聖堂 **3B** 秋冬
- [オルネス発] 氷河体験スヴァールティエーセン **4A** 春夏
- [トロムソ発] 犬ぞり **5B** 秋冬
- [ホニングスヴォーグ発] 最北端岬ノールカップ **6A** 通年
- [キルケネス発] ロシアとの国境 **7A** 通年
- [ハシュタ発] ヴェステローレン諸島を知る **9A** 通年
- [サンネスショーエン発] ユネスコ世界遺産の島・ヴェガ島 **10B** 春夏

※ エクスカージョンは別料金となります。
※ **2B** はコード番号です。詳しくは19ページをご覧ください。

北の最果ての岬を目指して

北行き航路 (通年)
ベルゲン ~ キルケネス (6泊7日)



ガイランゲルフィヨルド



トロムソ ©Nancy Bundt



トロムソ ©altafoto.no



ヨーロッパ最北のエリア、フィンマルク ©Michaela Khadrani - Guest image



犬ぞり ©villmarkssenger



ノールカップ ©Johannes Häfner - Guest image

ハンザ都市として栄えたベルゲンを出港し、フィヨルドの断崖や大小の島々を望みながら、ロシア国境に近いキルケネスへと向かう北行き片道クルーズです。先住民族サーメとの出会いや犬ぞりなど、北極圏ならではの文化を体験する機会も。北へと進むにつれて、日一日と涼しくなる外気、変化していく風景を感じられるはずです。



クルーズハイライト

ガイランゲルフィヨルド **春夏**

険しい山々と静かな入江のコントラスト

ユネスコの世界遺産に登録された、険しくも美しいフィヨルド。切り立った断崖からいくつもの滝が白い飛沫を上げて流れ落ちる絶景が約15キロに渡って続きます。

ノールカップ **通年**

大地が途切れる最果ての岬

北緯71度02分21秒に位置するヨーロッパ最北端にあたる岬の向こうは、見渡す限りの水平線。ここから北極点までは2,110kmしかありません。

※ 別料金のエクスカージョンとなります。

Schedule

- day 1** **ベルゲン**
夜、ベルゲンを出港します。出発まで市内観光などご自由にお過ごしください。
- day 2** **オーレスン ~ モルデ**
アールヌーボー調の美しい町並みが残るオーレスンに寄港。 ※ 4月中旬~8月下旬発ではガイランゲルフィヨルド内を、9月初旬~10月下旬発はヨールンフィヨルド内を航行します。
- day 3** **トロムハイム**
中世の面影を残す古都トロムハイムに寄港。
- day 4** **ボードー ~ スヴォルヴァール**
早朝、北極圏越え。ボードーに寄港し、その夜、スヴォルヴァールへ。 **AURORA**
- day 5** **ハシュタ ~ トロムソ**
北極圏最大の町で、趣ある木造建築が残るトロムソに寄港します。 **AURORA**
- day 6** **ハンメルフェスト ~ ホニングスヴォーグ**
ノールカップ観光の拠点ホニングスヴォーグに寄港。 **AURORA**
- day 7** **ヴァルデー ~ キルケネス**
午前中、ロシア国境近くの町キルケネスに到着。北行き航路の終着港となります。

AURORA オーロラ観測のチャンス!

※ オーロラのベストシーズンとされるのは9月中旬~3月中旬ごろ。自然現象ですので観測できない場合もあります。

おもなエクスカージョン

- [ガイランゲル発] ガイランゲル・トロールステイゲン **2B** **春夏**
- [トロムハイム発] トロムハイムとニードロス大聖堂 **3B** **秋冬**
- [オルネス発] 氷河体験スヴァールティーセン **4A** **春夏**
- [スタムスン発] ローフォートゥル・バイキングのごちそう **4F** **通年**
- [トロムソ発] 犬ぞり **5B** **秋冬**
- [ホニングスヴォーグ発] 最北端岬ノールカップ **6A** **通年**

※ エクスカージョンは別料金となります。
※ **2B** はコード番号です。詳しくは19ページをご覧ください。

北極圏から南へ向かう旅

南行き航路 (通年)
キルケネス ~ ベルゲン (5泊6日)



Schedule

day 1	キルケネス ~ ヴァルドー 午後、キルケネスを出港。ノルウェー最東端の町ヴァルドーに寄港します。 AURORA
day 2	ホニングスヴォーグ ~ トロムソ 世界最北端の町ハンメルフェストに寄港。その後、北極圏最大の町トロムソへ。 AURORA
day 3	トロムソ ~ スヴォルヴァール クルーズのハイライト、ラフテスンデ海峡 (ヴェステローレン諸島・ロフォーテン諸島) の絶景をお楽しみください。 AURORA
day 4	サンネスショーエン ~ ロルヴィーク 午前中に北極圏を抜け、午後、セブンススターズを通過。ロルヴィーク出港後、不思議な岩トルグハッテンが姿を現します。
day 5	トロンハイム ~ モルデ 朝、古都トロンハイムに寄港。船上での最後の夜です。
day 6	オーレスン ~ ベルゲン オーレスンへの寄港は深夜。小島の間を進み、昼過ぎにベルゲンに到着します。

AURORA オーロラ観測のチャンス!
※ オーロラのベストシーズンとされるのは9月中旬~3月中旬ごろ。自然現象ですので観測できない場合もあります。

ロシア国境近くの北極圏の町キルケネスから、フィヨルドの海岸線をたどり、ハンザ都市として栄えたベルゲンへ向かう6日間の南行き片道クルーズです。この航路では、ロフォーテン諸島周辺を夕刻に航行しますので、急峻な岩山に覆われたその独特の景観をたっぷり堪能していただけます。

※ 北行き航路ではロフォーテン諸島周辺の航行は夜間となります。



クルーズハイライト

ラフテスンデ海峡 (ロフォーテン諸島) 通年
北の海に浮かぶ『海のアルプス』神話のような風景
険しい山々と静かな入江、愛らしい集落など、絵に描いたような風景が広がる島々。『まるで絵葉書の中に入って行くようだ』と形容されるほど素晴らしい景色が広がります。

セブンススターズ 春夏
7つの頂きが連なる伝説の山々
美しい七人姉妹が太陽の光に当たり、石になってしまったという伝説が残されています。

- おもなエクスカッション
- [ホニングスヴォーグ発] ノールカップで朝食を **8A** 春夏
 - [トロムソ発] ミッドナイトコンサート **8C** 通年
 - [ハシュタ発] ヴェステローレン諸島を知る **9A** 通年
 - [スヴォルヴァール発] ロフォーテン諸島 **9B** 春夏
 - [サンネスショーエン発] ユネスコ世界遺産の島・ヴェガ島 **10B** 春夏
 - [トロンハイム発] トロンハイムとニーダロス大聖堂 **11A** 通年
 - [クリスチャンソン発] アトランティックロード **11C** 春夏
- ※ エクスカッションは別料金となります。
※ **8A** はコード番号です。詳しくは20ページをご覧ください。

エクスカーション（寄港地でのオプションツアー）

寄港地では、さまざまなエクスカーションをご用意しています。

ノルウェーの自然や歴史、ライフスタイルに触れ、新しい魅力を発見できるでしょう。

下記以外にも豊富なエクスカーションがございますので、

詳細はホームページをご覧ください。(www.hurtigruten-jpblog.com)

■…北行きで参加できるエクスカーション

■…南行きで参加できるエクスカーション

※番号はコード番号

例 **2B** ベルゲンを出港して2日目に実施されるエクスカーション(北行き)

9C ベルゲンを出港して9日目に実施されるエクスカーション(南行き)

2B ガイランゲルとトロールスティーゲン

フィヨルドの絶景ルートを通る

ガイランゲル発



催行時期:
6月初旬～8月下旬

©altafoto

オルネヴァイエンルートを経て、フィヨルドの景勝で知られ、急勾配とカーブが続くトロルスティーゲン（トロルのはしごの意）を通り、ロムズダルフィヨルドへ。

4A 氷河体験スヴァールティーセン

ノルウェー第2の氷河へ

オルネス発



催行時期:
5月初旬～9月下旬

©Andreas Drummer-Guest image

小さな船でノルウェーで二番目に大きいスヴァールティーセン氷河へ。氷河の分岐であるエンガブレイエンのスヴァールティーセン・ツーリストセンターから雄大な眺めを楽しめます。

5B 犬ぞり

犬ぞりで雪原へ

トロムソ発



催行時期:
11月下旬～12月下旬
1月上旬～4月下旬

©Villmarksenter

ハスキー犬の引くそりで、一面雪で覆われた平原をランプの灯りをたよりに滑走します。犬ぞりを楽しんだ後はサーメ人のテントの中で焚き火を囲んで温かいコーヒーとケーキをいただきます。

6C ラップランド体験

先住民サーメの伝統文化に触れる

キョレフィヨルド発



催行時期:
5月中旬～9月上旬

©Alexander Eriksen

ファルダルブルケット沿岸文化センターを見学し、先住民サーメの歴史や伝統文化などについて学びます。トナカイの放牧を行っているサーメ家族の夏の野営地を訪問し、自然とともに生きるサーメの知恵に触れることができます。

8A ノールカップで朝食を

北極圏の朝陽を浴びる

ホニングスヴォーグ発



催行時期:
5月中旬～10月初旬

©Richard Neall

早朝、北緯71度に位置するヨーロッパ最北端の岬、ノールカップへ。断崖絶壁から朝陽を眺めた後、朝食をお召し上がりいただけます。トナカイを育てている先住民サーメの家族を訪問します。

*天候により朝陽はご覧いただけない場合もございます。

9C オオワシ・ウォッチング

勇壮な姿を間近に観察するチャンス

スヴォルヴァール発



催行時期:
3月下旬～10月中旬

©Sue Weller-Guest image

小さなボートに乗って、狭いトロルフィヨルド内を通りぬけた後、オオワシの王国へ。ボートの上をオオワシが雄大に旋回したり、急降下する勇壮な姿を間近に見ることができるかもしれません。カメラをかまえてベスト・ショットを狙いましょう。

2C アールヌーボーを訪ねる

美しい街並みをのんびり散策

オーレスン発



催行時期:
1月初旬～4月中旬
11月初旬～12月下旬

©Paul Heitze-Guest image

アールヌーボー調の建物が残るオーレスンの街並みを、現地ガイドとともに散策。資料館として一般公開されている建物を見学します。町の賑わいを感じると共に歴史を学べるツアーです。

4D RIBサファリ・サルストラウメン

豪快な渦潮にボートで接近

ボードー発



催行時期:
5月初旬～9月下旬

©Nina Helland

RIBボート（ゴムボート）に乗って、世界最大規模の渦潮サルストラウメンを見に行くスリリングなツアー。沿岸に生息するオオワシも見られるかもしれません。

5G カヤックツアー

静寂の包まれた海に漂う

トロムソ発



催行時期:
5月上旬～8月下旬

©Villmarksenter

トロムソ近郊の山々を眺めながら、カヤックを楽しめます。初心者でも参加可能。清らかで静かな海でノルウェー北極圏の大自然を間近に体験することが出来ます。

7A ロシアとの国境

ノルウェーとロシアが出会う地

キルケネス発



催行時期: 通年

©altafoto.no

キルケネス市内を観光後、ストールスコーグにあるノルウェーとロシア国境事務所を訪れます。写真やビデオ撮影は可能ですが、国境を越えることはできません。ロシアの民芸品も販売されています。

8C ミッドナイトコンサート

美しい教会で音楽鑑賞

トロムソ発



催行時期: 通年

©JAN LILLEHAMRE

トロムソのランドマークとして知られる、ステンドグラスが美しい「トロムスグーレン教会」へ。ノルウェーの民謡、聖歌、クラシックソングを楽しめます。コンサート中の写真撮影はご遠慮ください。

10B 世界遺産の島・ヴェガ島

鳥と共存してきた島の豊かな伝統に触れる

サンネスショーエン発



催行時期:
6月中旬～8月下旬

©Michael Friedchen-Guest image

ユネスコの世界文化遺産に登録されたヴェガ島へご案内。農家の建物など牧歌的な風景を楽しみながら、ネス村へ。資料館ではケワタガモの羽毛や卵の採取を中心産業としてきた歴史を学び、今も続く伝統的な生活様式に触れます。

3B トロンハイムとニダロス大聖堂

古都の歴史に触れる

トロンハイム発



催行時期:
1月初旬～4月上旬
9月初旬～12月下旬

©Leslie A. Kelly

古都トロンハイムには木造建築が多く残り、大都市にはない親しみやすい雰囲気が漂っています。ニダロス大聖堂等の歴史的建造物を見学し、小高い展望台から街並みを一望します。

4E/4F ロフォートゥル・バイキングのごちそう

バイキング時代に思いをはせる

スタムスン発



催行時期: 通年

©David Burren

バスでロフォートゥル・バイキング博物館へご案内。この地に住んでいたバイキングの暮らしについて学びます。彼らが行っていた伝統儀式を体験し、実際に食べていた食事をお召し上がり下さい。

6A ヨーロッパ最北端ノールカップ

北の最果ての岬へ

ホニングスヴォーグ発



催行時期: 通年

©Ruth Stone-Guest image

北緯71度に位置するヨーロッパ最北端の岬・ノールカップを訪れます。海から垂直に307メートル切り立った断崖絶壁の上に立ち、そこからは水平線を一望できます。ヨーロッパ最北のポストから手紙を出すことができます。

7D キルケネスのスノーホテル見学

雪と氷でできた幻想的なホテルへ

キルケネス発



催行時期:
1月初旬～4月下旬
12月中旬～12月下旬

©Thomas Haltner,Germany

バスでガットナカイ公園にあるスノーホテルへご案内。毎年、雪や氷を使って建てられるホテルです。併設のアイスバーではクラウドベリーののお飲み物をどうぞ。

9A ヴェステローレン諸島を知る

島々の美しい景観を満喫

ハシュタ発



催行時期: 通年

©Manfred Horender

中世に建てられたトロンデネス教会を訪れます。フィヨルドや農場などの美しい自然の景観を楽しみながらヴェステローレン諸島の海外線に沿って走ります。豊かで肥沃な農地は、夏のどかで牧歌的ですが、冬は雪に覆われ美しく輝きます。

11C アトランティックロード

大西洋を望む世界一のドライブルート

クリスチャンスン発



催行時期:
5月初旬～9月中旬

©Massie Brigitte-Guest image

13世紀に立てられたスターブ式教会を見学後、世界一のドライブルートにも選ばれたアトランティックロードで大西洋の素晴らしい眺望をお楽しみいただけます。全長8.2kmあるこの道路は全部で8つの島々を結びながらジグザグに進みます。

シップデータ

フッティルレーテンは、11隻の船が毎日一年を通して運航しています。

MILLENNIUM ミレニアム・シップ

MS MIDNATSOL ミッドナットソル号



建造年：2003年
総トン数：16,151トン
乗客定員：1,000人
ベッド数：638
巡航速度：15ノット

MS TROLLFJORD トルロフィヨルド号



建造年：2002年
総トン数：16,140トン
乗客定員：822人
ベッド数：640
巡航速度：15ノット

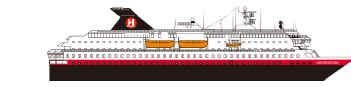
MS FINNMARKEN フィンマルケン号



建造年：2002年
総トン数：15,530トン
乗客定員：1,000人
ベッド数：628
巡航速度：15ノット

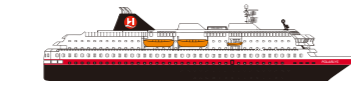
STANDARD スタンダード・シップ

MS NORDNORGE ノールノルゲ号



建造年：1997年
総トン数：11,384トン
乗客定員：623人
ベッド数：451
巡航速度：15ノット

MS POLARLYS ポラリス号



建造年：1996年
総トン数：11,341トン
乗客定員：619人
ベッド数：473
巡航速度：15ノット

MS NORDKAPP ノールカップ号



建造年：1996年
総トン数：11,386トン
乗客定員：622人
ベッド数：458
巡航速度：15ノット

MS NORDLYS ノールリス号



建造年：1994年
総トン数：11,204トン
乗客定員：622人
ベッド数：469
巡航速度：15ノット

MS RICHARD WITH リカルドウィット号



建造年：1993年
総トン数：11,205トン
乗客定員：623人
ベッド数：464
巡航速度：15ノット

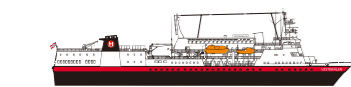
MS KONG HARALD コングハラルド号



建造年：1993年
総トン数：11,204トン
乗客定員：622人
ベッド数：474
巡航速度：15ノット

CLASSIC クラシック・シップ

MS VESTERÅLEN ヴェステローレン号



建造年：1983年
(1988・1995年改装)
総トン数：6,261トン
乗客定員：510人
ベッド数：294
巡航速度：15ノット

MS LOFOTEN ロフォーテン号



建造年：1964年
(2003年改装)
総トン数：2,621トン
乗客定員：340人
ベッド数：153
巡航速度：15ノット

デッキプラン

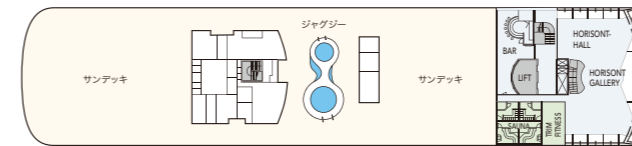
人気の高いミッドナットソル号のデッキプランをご紹介します。

MS MIDNATSOL

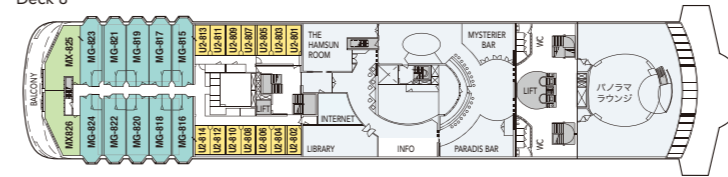
ミッドナットソル号



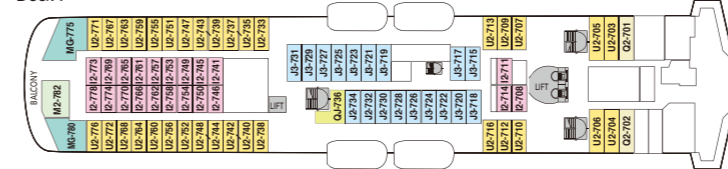
Deck 9



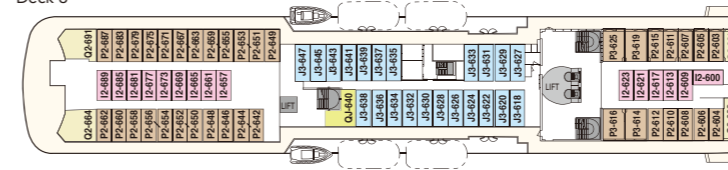
Deck 8



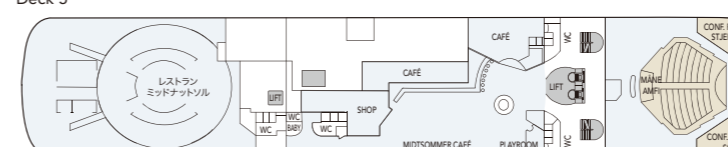
Deck 7



Deck 6



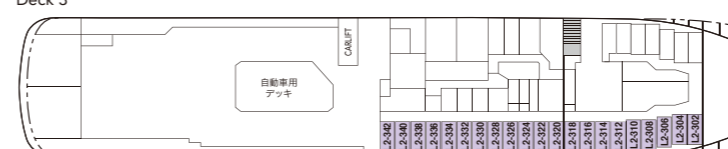
Deck 5



Deck 4



Deck 3

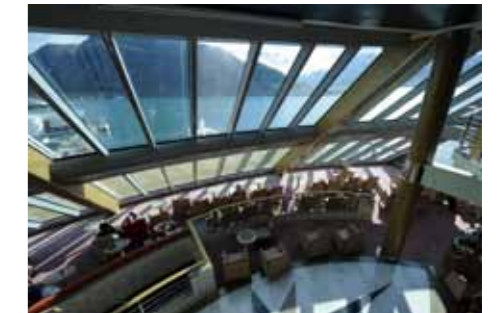


- DECK 9
- DECK 8
- DECK 7
- DECK 6
- DECK 5
- DECK 4
- DECK 3
- DECK 2
- DECK 1

ミッドナットソルとは「真夜中の太陽」という意味で、ノルウェーの夏からインスピレーションを得てデザインされました。フッティルレーテン史上、「ミッドナットソル」と名付けられた船としては、4代目にあたります。ガラスがふんだんに使われ、自然光が船内にそそぎこみ、外の風景をよく見る事ができます。屋外ジャグジーや大きな窓のついたサウナもあり、素晴らしい風景を眺めながらリラックスした船旅をお楽しみ頂けます。



©Gian Rico Willy



©Goran Freiholtz



©Goran Freiholtz

キャビンカテゴリ

MX	オーナーズスイート	U	海側キャビン
MG	グランドスイート	P	海側キャビン
M	スイート	N	海側キャビン
Q	ミニスイート	J	海側キャビン※
QJ	ミニスイート※	L	海側キャビン※
		I	内側キャビン

※QJ、J、一部のLキャビンは視界が遮られる客室があります。
※車椅子対応キャビンもご用意しています。

まるでわが家のように、ゆっくりとおくつろぎいただける船内。気の置けない雰囲気大切にしたいから、船内ではカジュアルな服装でお過ごしてください。リラックスして、ノルウェーを五感で感じる旅へようこそ。



©Jan Lillehamre

大自然こそが極上のスペクタクル

にぎやかなショーやカジノのかわりに、豊かな自然の懐に船ごと抱かれるのがフッティルーテン流です。静かで穏やかな時間に包まれて、デッキの向こうに広がる大自然をご堪能ください。



©Gian Rico Willy

各船とも落ち着いたインテリアで統一

各船とも、インテリアはモダンなスタイルでまとめられています。随所にノルウェーの大地や海をテーマにしたアート作品が配置され、洗練された空間を演出しています。



©Simen G.Fangel



©Per Eide

ノルウェーの旬の味覚をふんだんに

レストランでは、旬の新鮮な食材を用いてシェフが腕を振るい、その季節、その地方の伝統的な料理をご用意いたします。食後は、バーやラウンジでくるぎのひとときをどうぞ。



各港で仕入れた地元産のシーフード、肉、チーズやベリーなどノルウェーの大自然からの贈り物をご賞味ください。

©Pål Redahl



©Carol Cowell-Guest image



©Ragnar Harvig

快適な船旅のための、充実の施設&サービス

船内には、ジャグジー(*)、サウナ(**)、図書館、24時間オープンのカフェやバーなどの施設を完備。くるぎの時間をお約束します。



(*）ミレニアム・シップおよびノールノルゲ号、ノールカップ号、リカルドウィット号のみ
(**) クラシック・シップを除きすべての船に完備



©GS Foto



©Backpack Foto



©Stein Lillebo

きさくなノルウェー人クルーのおもてなし

英語の話せるスタッフが乗船しているので、エクスカーションのご予約、ご不明な点などお気軽にお問合わせください。

キャビン(客室)のご案内

キャビンタイプは、手ごろなスタンダードからぜいたくなスイートまで幅広くご用意しています。ご予算や旅行スタイルなど、お好みに合わせてお選びください。

キャビンカテゴリー

MX	オーナーズスイート	43-45㎡	●プライベートバルコニー付き ●クイーンサイズベッド、ソファ&ダイニングテーブル、テレビ、ステレオ、インターネット接続、ミニバー、バスタブ	QJ	ミニスイート(※3)	18-20㎡	●クイーンサイズベッド(ツインベッドの場合もあります)、ソファ、テレビ、ミニバー	L	海側キャビン(※3)	7-13㎡	●2ベッド
MG	グランドスイート	35-37㎡	●プライベートバルコニー付き(※1) ●クイーンサイズベッド、ソファ、テレビ、ステレオ、インターネット接続、ミニバー、バスタブ(※2)	U	海側キャビン	8-13㎡	●2ベッド、テーブル	A	海側キャビン	6-8㎡	●2段ベッド
M	スイート	28-30㎡	●プライベートバルコニー付き(※1) ●クイーンサイズベッド、ソファ、テレビ、ミニバー	P	海側キャビン	8-13㎡	●2ベッド、テーブル	I	内側キャビン	6-10㎡	●2ベッド
Q	ミニスイート	18-20㎡	●クイーンサイズベッド、ソファ、テレビ、ミニバー	N	海側キャビン	7-13㎡	●2ベッド、テーブル	D	内側(または海側)キャビン	5-7㎡	●2段ベッド、洗面台(トイレシャワーなし)
				J	海側キャビン(※2)	7-13㎡	●2ベッド				

車椅子対応キャビンもご用意しています。

(※1) 客室によっては、プライベート・バルコニーはない場合もあります。 (※2) 客室によっては、シャワーオンリーになります。 (※3) 視界が遮られる客室があります。

スイート



オーナーズ・スイート MX



グランドスイート MG



ミニスイート Q QJ

スタンダード



海側キャビン U P N J L



内側キャビン I



車椅子対応キャビン* ©2009 Lars Svenkerud

※車椅子対応キャビンにつきましては、お問い合わせください。

タイムテーブル

フットィルーテンの船は、ノルウェー西岸34の港を12日間かけて往復します。

おもな寄港地には数時間停泊しますので、その間に多彩なエクスカーションをお楽しみください。

【北行き】 冬(11月上旬～4月中旬)

		到着	出発	
day 1	ベルゲン	—	22:30	
day 2	フローロ	04:30	04:45	
	モーロイ	06:45	07:30	
	トルヴィーク	10:20	10:45	
	オーレスン	12:00	15:00	
	モルデ	17:30	18:30	
day 3	クリスチャンソン	22:00	23:00	
	トロンハイム	06:00	12:00	
day 4	ロルヴィーク	20:30	21:15	
	ブロンオイスン	00:30	01:00	
	サンネスショーエン	03:45	04:15	
	ネスナ	05:25	05:30	
	オルネス	09:00	09:30	
	ボードー	12:30	15:00	
	スタムスン	19:00	19:30	
	スヴォルヴァール	21:00	22:00	
	day 5	ストークマルクネス	00:45	01:00
		ソルトラン	02:30	03:00
リソイハムン		04:15	04:30	
ハシュタ		06:45	08:00	
フィンズネス		11:15	11:45	
トロムソ		14:30	18:30	
ジェルヴォイ		22:30	22:45	
day 6		オクスフィヨルド	02:00	02:15
		ハンメルフェスト	05:15	06:45
		ハーヴォイスン	09:30	09:45
	ホニングスヴォーグ	11:45	15:15	
	キョレフィヨルド	17:30	17:45	
day 7	メーハムン	19:30	20:00	
	ベルレヴォーグ	22:30	22:45	
	ボーツフィヨルド	00:30	01:00	
	ヴァルドー	04:00	04:15	
	ヴァドソー	07:30	08:00	
	キルケネス	09:45	—	

【北行き】 春夏(4月中旬～8月下旬)

		到着	出発	
day 1	ベルゲン	—	20:00	
day 2	フローロ	02:00	02:15	
	モーロイ	04:15	04:30	
	トルヴィーク	07:15	07:30	
	オーレスン	08:45	09:30	
	ガイランゲル	13:30	—	
	オーレスン	18:00	18:45	
	モルデ	21:30	22:00	
day 3	クリスチャンソン	01:30	01:45	
	トロンハイム	08:15	12:00	
day 4	ロルヴィーク	20:30	21:15	
	ブロンオイスン	00:30	01:00	
	サンネスショーエン	03:45	04:15	
	ネスナ	05:25	05:30	
	オルネス	09:00	09:30	
	ボードー	12:30	15:00	
	スタムスン	19:00	19:30	
	スヴォルヴァール	21:00	22:00	
	day 5	ストークマルクネス	00:45	01:00
		ソルトラン	02:30	03:00
リソイハムン		04:15	04:30	
ハシュタ		06:45	08:00	
フィンズネス		11:15	11:45	
トロムソ		14:30	18:30	
ジェルヴォイ		22:30	22:45	
day 6	オクスフィヨルド	02:00	02:15	
	ハンメルフェスト	05:15	06:45	
	ハーヴォイスン	09:30	09:45	
	ホニングスヴォーグ	11:45	15:15	
	キョレフィヨルド	17:30	17:45	
	メーハムン	19:30	20:00	
	ベルレヴォーグ	22:30	22:45	
day 7	ボーツフィヨルド	00:30	01:00	
	ヴァルドー	04:00	04:15	
	ヴァドソー	07:30	08:00	
	キルケネス	09:45	—	

【南行き】 (通年)

		到着	出発
day 7	キルケネス	—	12:45
	ヴァルドー	16:00	17:00
	ボーツフィヨルド	20:00	20:30
	ベルレヴォーグ	22:15	22:30
day 8	メーハムン	01:00	01:15
	キョレフィヨルド	03:15	03:30
	ホニングスヴォーグ	06:00	06:15
	ハーヴォイスン	08:15	08:30
	ハンメルフェスト	11:15	12:45
	オクスフィヨルド	15:30	15:45
	ジェルヴォイ	19:00	19:45
	トロムソ	23:45	—
day 9	トロムソ	—	01:30
	フィンズネス	04:15	04:45
	ハシュタ	08:00	08:30
	リソイハムン	10:45	11:00
	ソルトラン	12:30	13:00
	ストークマルクネス	14:15	15:15
	スヴォルヴァール	18:30	20:00
	スタムスン	21:30	22:00
day 10	ボードー	02:00	04:00
	オルネス	07:00	07:15
	ネスナ	11:00	11:15
	サンネスショーエン	12:30	13:30
	ブロンオイスン	16:15	17:00
	ロルヴィーク	20:30	21:30
day 11	トロンハイム	06:30	10:00
	クリスチャンソン	16:30	17:00
	モルデ	20:45	21:30
day 12	オーレスン	00:00	00:45
	トルヴィーク	02:00	02:15
	モーロイ	05:00	05:45
	フローロ	07:45	08:15
ベルゲン	14:30	—	

【北行き】 秋(9月初旬～10月下旬)

		到着	出発
day 1	ベルゲン	—	20:00
day 2	フローロ	02:00	02:15
	モーロイ	04:15	04:30
	トルヴィーク	07:15	07:30
	オーレスン	08:45	09:30
	ヨールンフィヨルド	11:30	—
	オーレスン	17:15	18:45
	モルデ	21:30	22:00
day 3	クリスチャンソン	01:30	01:45
	トロンハイム	08:15	12:00
day 4	ロルヴィーク	20:30	21:15
	ブロンオイスン	00:30	01:00
	サンネスショーエン	03:45	04:15
	ネスナ	05:25	05:30
day 5	オルネス	09:00	09:30
	ボードー	12:30	15:00
	スタムスン	19:00	19:30
	スヴォルヴァール	21:00	22:00
	ストークマルクネス	00:45	01:00
day 6	ソルトラン	02:30	03:00
	リソイハムン	04:15	04:30
	ハシュタ	06:45	08:00
	フィンズネス	11:15	11:45
	トロムソ	14:30	18:30
	ジェルヴォイ	22:30	22:45
	オクスフィヨルド	02:00	02:15
day 7	ハンメルフェスト	05:15	06:45
	ハーヴォイスン	09:30	09:45
	ホニングスヴォーグ	11:45	15:15
	キョレフィヨルド	17:30	17:45
	メーハムン	19:30	20:00
	ベルレヴォーグ	22:30	22:45
	ボーツフィヨルド	00:30	01:00
ヴァルドー	04:00	04:15	
ヴァドソー	07:30	08:00	
キルケネス	09:45	—	

※2013年4月現在のもので、多少変更になる可能性もございますこと、ご了承ください。

Advice for Life on Board クルーズライフのアドバイス

気候について

沖合いを流れるメキシコ湾流の影響で、緯度のわりに気候は穏やかで、四季もはっきりしています。気温は、緯度により冬季はマイナス10～プラス2度、夏季は10～30度まで変化します。北極圏では、5～7月は太陽の沈まない白夜になり、11～1月は太陽がほとんど姿を見せない極夜となります。

服装について

● **船外での服装**：北と南で寒暖の差が激しく、地域によっては一日の中でも気温の変動が大きいため、重ね着での調節をおすすめします。夏でも通常の夏服に加え、防寒着などを準備ください。冬は、帽子や手袋、保温下着などの防寒対策をお願いします。四季を通じ、雨具や紫外線対策(日焼け止めクリームやサングラス)もお忘れなく。エクスカーションの際は、履き慣れた暖かいブーツがおすすめです。また、ジャグジーをご利用になるお客さまは水着をお持ちください。



● **ドレスコード**：ドレスコードは設けられていないので、気軽な服装で過ごしてください。ディナー時に着替えておしゃれを楽しむ方もいらっしゃいますが、基本的にはカジュアルな雰囲気です。

お食事について

ノルウェー産の新鮮な素材を使用したスカンジナビアスタイルの料理をご用意しております。ベジタリアンなど特別な食事制限が必要な方はクルーズ予約時にご相談ください。お食事の時間は変更の可能性がございます。乗船時にご確認ください。



©Carol Cowell-Guest image

- **朝食**：ビュッフェ形式 07:00～10:00
パン、シリアル、ハム、チーズ、卵、フルーツなどをご用意。
- **昼食**：ビュッフェ形式 12:00～14:30
魚、肉、サラダ、デザート、フルーツなどをご用意。
- **夕食**：コースメニュー 18:30～21:00
※予め、レストランでテーブルをご予約ください。
※ベルゲン出港時はビュッフェ形式です。それ以外にもビュッフェ形式になることがあります。
- **軽食・飲み物**：カフェでは飲み物、サンドイッチ、ピザやハンバーガーなど軽食を中心に、菓子、スナックなども用意しております。通常、カフェは24時間オープンしています。専用のカップをご購入いただくと、コーヒーまたは紅茶が飲み放題になるサービスもあります。



客室設備など

- **シャワー・トイレ**：客室には、シャワー・トイレ・ヘアードライヤーが配されています(Dキャビン以外)。
- **電気製品**：電圧は220ボルト。日本から電化製品を持参する場合は変圧器が必要となります。プラグは丸2ピン(Cタイプ)です。
- **セーフティー・ボックス**：キャビンにセーフティー・ボックスはありません(ミッドナットソル号、トールフィヨルド号のスイートキャビンの一部、フィンマルケン号の全キャビンにはセーフティー・ボックスをご用意しております)。貴重品は受付で預かります。
- **お洗濯**：洗濯機、乾燥機、アイロンがある洗濯室をご用意しています。受付で専用コインをご購入ください。ロフォーテン号では洗濯の手配は乗務員がお手伝いします。ドライクリーニングはありません。

車椅子をご利用の方へ

ごく一部の船を除き、車いす対応キャビンをご用意しております。また、船内の移動にはエレベーターをご利用いただけます。身の回りのお世話が必要な場合は、介護される方の同行をお願いしております。

船内での買い物について

ショップでは、土産物やニット製品、絵はがき、切手などを販売しています。また、フリースやTシャツ、帽子などフットィルーテンのオリジナルグッズをお求めいただけます(ロフォーテン号ではカフェにて販売しています)。

船内でのお支払いについて

- **チップ**：フットィルーテンの旅ではチップは必要ありませんが、良いサービスを受けたと感じになりましたら、小額のお心付けはスタッフの励みにもなります。
- **通貨**：船内ではノルウェークローネがご利用いただけます。トラベラース・チェックやその他の通貨は事前に両替をお願いします。
- **クレジットカード**：VISA、マスター、AMEX、Dinersカードがご利用いただけます。クルーズカードもクレジットカードと同様にお使いいただけます(下船時に現金またはクレジットカードで精算をお願いいたします)。



通信について

- **電話**：すべての船に、有料電話とファックスが備え付けられています。テレフォンカードは受付でご購入いただけます。キャビン内の電話は船内通話専用です。
- **携帯電話**：船内では、個人の携帯電話もご利用いただけます。
- **インターネット**：船内にはインターネット・カフェや無線LAN接続エリアがあり、インターネットに接続していただけます(ロフォーテン号を除く)。受付にてお

申し込みください。

船内インフォメーション

ベルゲンとキルケネスから出発する際には、安全のためのセミナーが開催されます。旅の間は、インフォメーションデスクにてデイリープログラムを提供しています。

ご注意いただきたいこと

- **貴重品**：貴重品は受付にて預かりします。お預けにならなかった貴重品が紛失した際の責任は一切負いかねます。
- **喫煙**：キャビンおよび公共エリアは禁煙です。オープンデッキは喫煙が許可されていますが、港に停泊中は禁煙となります。
- **ペット**：ロングクルーズでのペットの同行はご遠慮ください。動物の運搬には特別なルールが適用されます。なお、介助犬の乗船は可能です。

船の揺れについて

ほとんどの場合、船はノルウェー本土と島々の間の穏やかな海を航行するので、波は静かです。ただし、外洋を航行する際や、天候が悪い時には揺れる事もありますので、心配な方は船酔い薬をお持ちください。



もしも体調が悪くなったら

応急手当の訓練を受けた乗務員が乗船しており、緊急の対処をいたします。急病の場合、受付係が一番近い港にいる医師に連絡を取ります。

エクスカーションについて

- **お申し込み**：乗船後のお申し込みも可能ですが、人気のコースは満席になっている可能性があるため、事前予約をおすすめします。ご予約は、各コース出発1ヶ月前まで承っております。なお、季節により催行されないコースもありますので、催行期間をご確認の上ご予約をお願いいたします。
- **お支払い**：船内で予約した場合はノルウェークローネでの支払いとなり、為替レートの関係でパンフレット掲載料金と異なる場合があります。

—“Ha en god reise!”

(ノルウェー語で「よい船旅を！」)



HURTIGRUTEN Japan
フッティルーテン・ジャパン

<http://www.hurtigruten-jpblog.com/>

東 京：〒105-0014
東京都港区芝1-7-17
住友不動産芝ビル3号館3F
TEL.03-6809-4322
FAX.03-6809-4320

大 阪：〒550-0002
大阪市西区江戸堀1-18-35
肥後橋1Pビル3F
TEL.06-6443-0721(代)
FAX.06-6443-0740

名古屋：〒460-0002
名古屋市中区丸の内3-16-19
丸の内ニューネットビル6F
TEL.052-957-5540(代)
FAX.052-957-5541